

おひさま通信

2008年6月号



<上片桐保育園&児童館でのおひさま発電所点灯式>

「南信州おひさまファンド」へのご出資を通じて、おひさま発電所をご支援いただきありがとうございます。本号では、2007年度の事業報告を補足して、事業にかかわる様々な情報をお知らせいたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

<目次>

◎ ごあいさつ

◎ 2007年度の取り組みについて

2008年6月

おひさま進歩エネルギー株式会社

長野県飯田市本町2-15 とうや3階

電話：0265-56-3711 FAX：0265-56-3712



<おひさま発電所のマスコットキャラクター「さんぼちゃん」は、一歩二歩三歩と着実に歩みます>



ごあいさつ

「南信州おひさまファンド」に出資していただいているみなさま、本当にありがとうございます。私事で恐縮ですが、昨年8月のお盆直後に急なめまいを起こし、数日間ほど入院するという経験をしました。あと数年で高齢者といわれる年齢が近づいており、天が警告を与えてくれたものと不安にもなりましたが、詳しい検査の結果はお陰さまで何の異常も無く、還暦を来年に控えても大いに奮い立っています。

地球温暖化も同じだと思います。いま、地球は人類に対して警告を発してくれているのではないのでしょうか。いまこそ行政・企業はもちろん、一人ひとりが真摯に温暖化防止に取り組むべき時と考えます。弊社の事業に出資していただいた多くの方がそのような危機感を持たれて、自分が貢献できる一つの方法として、出資に応じてくださったと考えると、ともに立ち上がり人類最大の問題と言われる地球温暖化に立ち向かう仲間がいることに勇気づけられます。

そんなに遠くない将来、人類が消滅した美しい地球か、それとも人類も共存する美しい地球か、どちらを選択し目指すべきなのでしょう。これからもみなさまと一緒に考え取り組んで参りたいと思います。

今後とも南信州という一地方からではありますが、温暖化防止に向けて発信して参りますので、ご支援ご協力賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。



2007年度の取り組みについて

NPO 法人南信州おひさま進歩から始まった私たちの取り組みは、活動の拡大とともにおひさま進歩エネルギー株式会社・おひさまエネルギーファンド株式会社と法人も増え、現在も精力的に活動しています。

昨年度も多くの協力者とともに活動を行ってききましたので、その一部をご紹介します。

○南信州ソーラー共同利用プロジェクト

18年度から環境省の「メガワットソーラー共同利用モデル事業」の助成を受け、南信州地域を中心に3年間で太陽光発電1メガワットの設置プロジェクトを行っております。昨年度で2年目が終了し、合計約84箇所に700kWの太陽光パネルを設置しました。発電された電気の環境価値はグリーン電力証書として販売もしています。

○グリーン電力（通年）

自治体や企業を中心にグリーン電力証書に対する需要は、この1年で大きく拡大しており、おひさま発電所のグリーン電力もすべてが様々なユーザーに対して販売されています。グリーン電力には太陽光の他にも、風力発電やバイオマス発電から生まれた証書などの種類がありますが、おひさま発電所のグリーン電力は、太陽光発電が他の電源に比べて人気が高いこと、市民が協力して作っている電源として評価されている結果だと思えます。

○GSS（通年）

2006年度から地域の温室農家にペレットボイラーによるグリーン熱サービス事業をおこなっています。サービスとはものを売る事業ではなく、サービスに対する対価をはらってもらうというもので、今回の場合、ペレットボイラーを販売するのではなく、ペレットストーブで作られる熱をサービスするものです。

2007年度はペレット燃料使用により重油を約400L、CO₂に換算すると約1,000kgの削減につながりました。



サービスサイジングで提供しているボイラー

○飯田女子短大とのパネルシアター授業

幼稚園・児童館などで行ってきた幼児向け環境教育「パネルシアター」は、昨年度飯田女子短期大学の千裕美先生の講座と協力し、短大の学生と一緒に新しいパネルシアターを作り、上演までを行いました。内容は、食育と環境の2つの大きなテーマを、6チームに分かれてそれぞれのやりたい内容でストーリーから考え、秋には学園祭での上演と飯田市内の保育園での上演を行いました。各チーム頑張って、なかなかの出来映えでした。栄養士や保育士を目指す学生たちの良い経験になったようです。



短大生によるパネルシアター

○キャンドルナイト（冬至と夏至）

いまや全国的な取り組みになっている冬至・夏至の日のキャンドルナイトの取り組みを、飯田市においてもNPO南信州おひさま進歩が中心となり、地域ぐるみでのイベントとして行いました。イベントの様子は飯田市のコミュニティFMで生中継され、広く一般の市民に発信することができました。

○出資者ツアー（8月初め、10月末）

8月初旬に人形劇の街いいた「人形劇フェスタ&川本喜八郎人形美術館」鑑賞の旅、10月末におひさま発電所オープニングイベントの旅を開催しました。

ご案内が遅くなってしまった関係で、残念ながら参加者は少数でしたが、事業での取り組みと、飯田・南信州の魅力を十分堪能していただけたと思います。

今年度以降も出資者のみなさまには飯田を訪れる機会をご紹介させていただきたいと思いますので、是非この地を訪れていただければと思います。

○学生インターンシップ

沼田慶介さん（京都大学大学院地球環境学舎所属）に2007年9月～12月までの4ヶ月間、インターンシップ生として勤務していただきました。地域での自然エネルギーの利用について現場で学習したいとの志があり、私たちの取り組みに関心を寄せていただき、応募を受けました。営業に同行したり、バイオマスストーブ・ボイラーの調査を行ったり、また環境教育や地域でのイベントなど、全般的に関わっていただきました。



インターンの沼田君

○南信州エコ推進協議会（10月20日発足）

南信州・地球温暖化防止エコ推進協議会の設立を支援し、環境省の業務部門重点対策補助事業を南信州・地球温暖化エコ推進事業として採択を受け、地域内で自然エネルギー・省エネルギーの事業開発を実施しました。

環境省の「環境と経済の好循環のまちモデル事業」業務部門重点対策補助事業の一環として、省エネサービス13件、バイオマスエネルギー事業11件、太陽光発電事業5件の事業開発、導入支援として省エネルギー事業1件、バイオマスエネルギー事業1件を行いました。

○「温暖化防止おひさまファンド」設立（11月6日）

南信州おひさまファンドで始まった事業が、より広域に、また他地域へと広がり、新たにファンドの窓口としておひさまエネルギーファンド株式会社を立ち上げ、「温暖化防止おひさまファンド」の募集を開始しました。

前回は飯田市という限定的な地域を対象に事業をおこなってきましたが、それが南信州の15自治体に広がり、また長野県長野市、岡山県備前岡山地域、北海道石狩市という地域へも広がり、募集総額約9億円で現在も募集中です。

○エコプロ・エコキャラ

12月13日から15日にかけてエコプロダクツ展で、「全国エコキャラ大集合！」というイベントに我々のマスコットキャラさんぼちゃんが参加しました。全国のエコキャラたちと歌って踊って、子供たちと楽しく環境問題を考えてきました。

○クローズアップ現代（1月）

「温暖化防止おひさまファンド」の取り組みが、「“あなたのお金”が社会を変えるー広がる市民出資ー」のタイトルでNHK クローズアップ現代に取り上げられました。

内容は、資金がない NPO の活動資金確保の新しい金融の枠組みとして、出資する人々の思いを新たなお金の流れが社会に及ぼす可能性について放映されました。

取材は12月ごろから約1ヶ月程度行われ、ミーティングの様子から太陽光発電設置現場、市民出資説明会など、活動全般について取材を受けました。

○おひさまモール

長野県の「元気づくり支援金」の助成をいただいて、おひさま太陽光プロジェクトに参加していただいている企業のみなさまとインターネット上のショッピングモール「おひさまモール」を開設しました。ショッピングサイトでは太陽光から発電されたエネルギーを使って作られた商品が販売される予定で、ただいま作り込みの最中です。

○都市再生モデル調査

内閣府の補助事業「都市再生モデル調査事業」の一環で、「自然エネルギーを活用したコンパクトタウン実現方策検討調査」として、行政や地域の民間企業と飯田市中心市街地における自然エネルギーの活用について検討を行いました。また視察や観光で飯田に来られた方に分かりやすく現状の取り組みを紹介するエコエネルギーマップを作成しました。

○ソーラーシティカンファレンス

2/18～2/20にかけてオーストラリアのアデレードで行われたソーラーシティカンファレンスで私たちが取り組んでいる市民参加型の自然エネルギーの取り組みを発表してきました。会議全体の共通認識として、温暖化の是非についての議論はとうとう終わっていて、資源的制約のない太陽光発電はエネルギー問題解決の鍵であり、あとは具体的政策や事業を積み重ねていく段階というものでした。

立ち後れる日本の自然エネルギー政策ですが、世界の同志と想いを共有でき、これからもこの南信州から新しい地域のエネルギーのあり方を模索し、発信していきたいと改めて思いました。



エコキャラ大集合でのさんぼちゃん

QuickTime™ and a decompressor are needed to see this picture.

おひさまモール

QuickTime™ and a decompressor are needed to see this picture.

エコエネルギーMAP



ソーラーシティカンファレンス会場